

# 国土情報基盤の強化及びデジタル技術の活用によるDXの推進と 防災・減災・国土強靱化の推進

『「強い経済」を実現する総合経済対策』

令和7年度国土地理院関係補正予算

国土地理院の令和7年度補正予算案額は5,992百万円※です。

様々な経済社会活動や災害対応の基盤となる電子基準点や電子国土基本図などの国土情報基盤の整備・更新やデジタル技術の活用により、DXの推進を図ることで、持続可能な経済社会の実現に貢献します。また、激甚化・頻発化する自然災害から国民の生命・暮らしを守るため、防災・減災・国土強靱化に資する地理空間情報の充実や地殻変動監視の強化等の対策を実施します。

※このほか、デジタル庁一括計上分として139百万円がある。

## ■主な事業

＜生活の安全保障・物価高への対応＞

2,179百万円

○国土情報基盤の強化及びデジタル技術の活用によるDXの推進

ICT施工や交通・物流等のDXに必要な位置情報インフラである電子基準点の強化、3次元地図の整備等を推進します。また、最新の測量技術が利用できる環境を整えることで、測量行政のDXを推進します。

＜危機管理投資・成長投資による強い経済の実現＞

3,813百万円

○防災・減災のための地殻変動監視、測位環境及び地理空間情報の充実・強化

事前防災及び災害時の迅速な状況把握や復旧作業に資するため、高精度標高データや地形分類情報の整備等を行うとともに、南海トラフ地震などの巨大地震に備え、地殻変動の監視機能を強化し、復旧計画の策定を進めることで、地域の防災力を向上させ、国民の安全・安心を確保するための基盤を整えます。

○防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備

いつでもどこでも起こりうる災害に備えるため、災害リスクの見える化による住民の防災意識の向上、地図情報等の整備による的確な避難・救助の支援、災害発生後の迅速な被災状況把握等の対策を実施します。

○安定的な位置情報インフラ提供のための電子基準点網等の耐災害性強化対策

迅速な復旧・復興に資するため、大規模災害時においても、災害対応に必要な施設の機能を維持し、安定かつ継続的に観測やデータ提供を行えるよう電子基準点網等の耐災害性強化を実施します。

○SAR衛星データ等による全国陸域の地殻変動の監視

SAR衛星である「だいち4号」の大量の観測データを活用した効率的な監視や迅速な地殻変動把握を行うため、データ処理の効率化・高速化や、3次元解析に向けた解析環境の構築等を実施します。

参考資料：令和7年度国土地理院関係補正予算

# 令和7年度 国土地理院関係補正予算

総合経済対策 <生活の安全保障・物価高への対応> 【2,179百万円】

## 国土情報基盤の強化及びデジタル技術の活用によるDXの推進

### 位置情報インフラの高度化・強靱化

経済社会活動や災害対応の基礎となる国土情報基盤であり、高精度測位社会を支える重要な位置情報インフラである電子基準点等の強靱化や地殻変動補正情報の高度化を行うことで、国家座標を安定的に提供し、リアルタイムに精緻な位置情報が必要とされる幅広い分野での生産性向上に貢献します。

#### 交通・物流DXを支える位置情報インフラの強靱化

測地観測施設的环境整備・強靱化や妨害電波等に対する測地・監視技術の検討、データ配信・解析機能の強化等を実施します。

#### 国家座標の時間管理に向けた地殻変動補正情報の高度化

緯度・経度・高さに時間を加えた、4次元の位置情報を迅速に取得できる仕組みを整備・構築します。



### 3次元地図情報の整備加速化・利用推進

国土全域の3次元地図を令和10年度までに整備するため、AI等を活用した地図作成の効率化に向けた技術開発や地図情報管理機能の強化により、整備・更新・3次元化の更なる加速化を推進します。また、3次元地図データをウェブ上で安定的に閲覧するためのデータ整備及び環境整備等を実施します。

#### 3次元地図情報整備

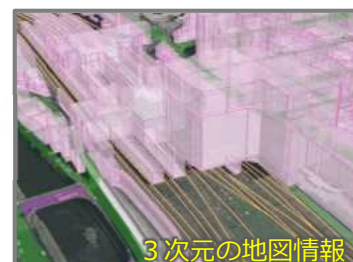
空中写真撮影による地図更新を実施し地図の最新性を確保しつつ、電子国土基本図の3次元化を行い、3次元地図の整備を着実に実施します。



整備  
・  
更新

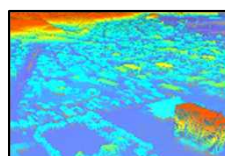


3次元化



#### AI等を活用した地図作成の効率化に向けた技術開発

空中写真や3次元点群データ等とAIを活用して、3次元地図データの整備を自動化する技術開発を行います。

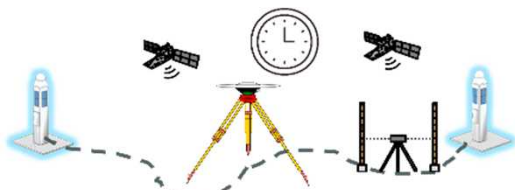


3次元地図データ  
整備の自動化

# 測量行政のDX

衛星を用いた最新の測量技術が利用できる環境を整備し、公共測量などの測量行政のDXを推進します。

## 高さ測量のDXの推進



衛星SARやGNSS測量を用いた新たな測量方法を調査検討し、高さ（標高）の変動の効率的かつ緻密な把握を推進します。

## 公共測量作業効率化のための調査検討

現状：他国の衛星も活用

Galileo (EU)

GPS (米国)

今後

準天頂衛星 (日本)

GLONASS (ロシア)

作業規程の準則の改定に向け、準天頂衛星7機体制における測量方法の精度検証等を実施します。

技術の  
進展等に  
合わせた改定



作業規程の準則に反映

# 総合経済対策 <危機管理投資・成長投資による強い経済の実現>

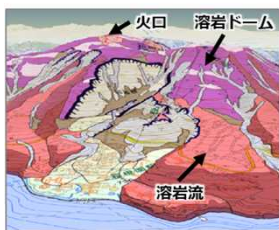
[3, 813百万円]

## 防災・減災のための地殻変動監視、測位環境及び地理空間情報の充実・強化

### 防災・減災対策のための地理空間情報の充実

防災・減災対策に有用な高精度標高データ整備や、未整備の火山地域における地形分類情報の整備、人工改変地に関する情報の効率的な整備手法の検討により、地理空間情報の充実を図り、自然災害リスクを把握できる環境を提供します。

#### 火山地域における地形分類情報の整備

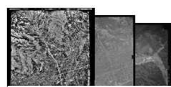


火山地域における地形分類

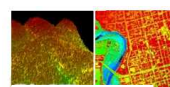


地理院地図等で広く公開

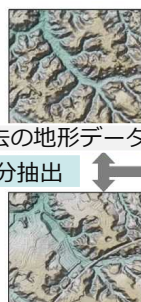
#### 地形改変可能性箇所情報の整備検討



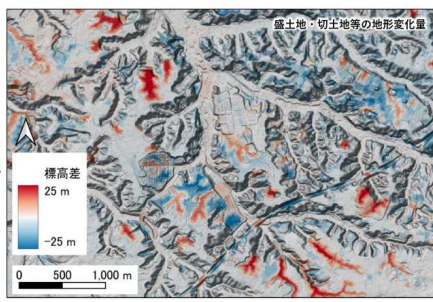
過去の空中写真



過去のDSM



現在の地形データ



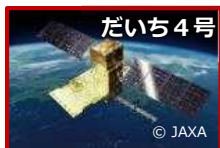
盛土地・切土地等の地形変化量・変化域データ

### 迅速な地殻変動監視と強靱な測位環境の実現による災害対応力の強化

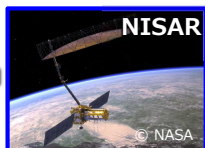
発災時の迅速な被災状況把握や復旧作業に資するため、衛星SARによる地殻変動監視の高度化や、南海トラフ地震等の大規模地震に備えた位置情報インフラの早期復旧計画の策定等を実施します。

#### 海外衛星SARも加えた地殻変動監視の迅速化

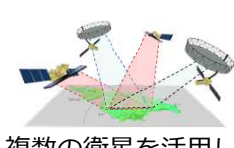
地震・火山活動に伴う変動を海外衛星データも活用し、迅速に監視する体制を構築します。



日本の衛星



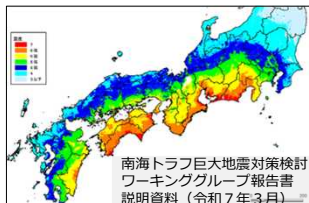
海外の衛星



複数の衛星を活用し観測機会を増加

#### 大規模地震における測量・測位基盤の早期復旧検討業務

想定される震度分布

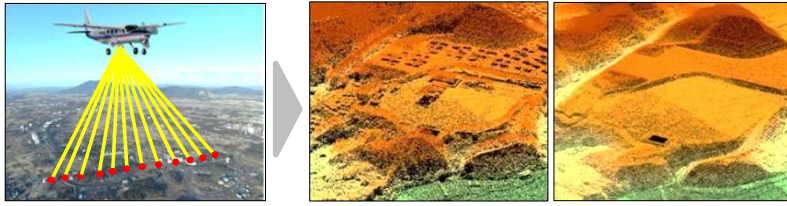


電子基準点等の基準点の被害想定及び経済的被害量の推計等を実施

# 防災・減災及び災害対応に資する地理空間情報の整備

災害リスクや被災状況の迅速な把握に有効な地理空間情報を整備することで、住民の防災意識の向上や的確な避難、救助活動を支援します。

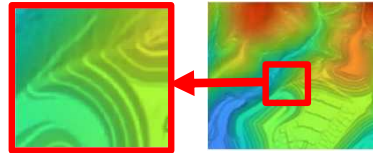
## 航空レーザ測量による高精度標高データ整備



航空レーザ測量

3次元点群データ

浸水想定や津波予測などのソフト対策に有効な国土の基盤情報として、航空レーザ測量により高精度標高データを整備します。



1mメッシュ標高データ

## 地形分類情報の整備

液状化や浸水リスクの把握の基礎資料となる地形分類情報を整備します。

令和2年7月豪雨  
浸水範囲

地形分類情報が  
整備されていない地域  
(ピンク：平野部)

地形分類情報  
整備範囲



## 空中写真の整備

捜索・救助活動や激甚災害の早期指定、災害査定等に活用可能な空中写真を事前に整備します。



空中写真の前後比較による被災状況把握

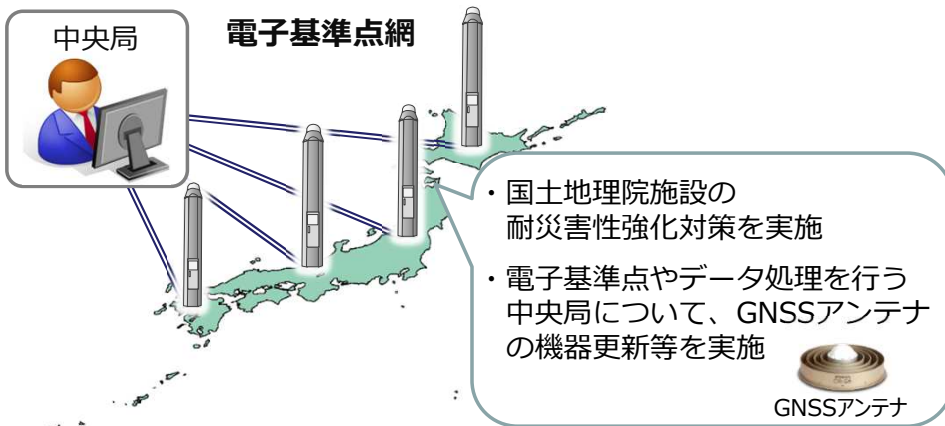
## 活断層図の整備

活断層による地震災害リスクの把握の基礎資料となる活断層図を整備します。

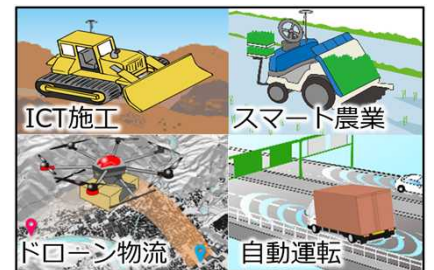


# 安定的な位置情報インフラ提供のための電子基準点網等の耐災害性強化対策

電子基準点網等の耐災害性を強化し、災害時にも安定かつ継続的に観測及びデータ提供が可能な環境を整備・維持することで、国民の安全・安心の確保や迅速な復旧・復興に寄与します。

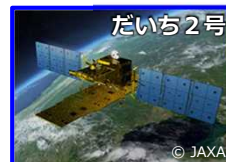


発災時の迅速な復旧作業や高精度測位社会の実現に寄与



# SAR衛星データ等による全国陸域の地殻変動の監視

SAR衛星データを用いて全国陸域の地殻変動監視を継続的に行い、地震・火山災害に備えるほか、発災時は地殻変動情報を速やかに関係機関へ提供し、初動対応や復旧・復興に貢献します。



だいち2号/だいち4号を活用した監視体制を構築